

CD クリーナーの効果(4)  
—アナログ盤への適用—

1. 始めに

前報(3)に引き続き、今回はアナログ盤への適用での効果を確認します。

2. CD クリーナーの試聴計画

メーカーの紹介では、CD と同様にアナログ盤への適用も可能ということでトレースしてみます。後述するように、盤の帯電や微振動対策を行ってきましたので、さらなる上乘せ効果があるかどうかポイントです。

今回の再生系は、次のとおりです。

LINN LP12→ZANDEN Model 120→Brooklyn DAC+→TruPhase

試聴するアナログ盤は次のとおりです。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. CD クリーナーの試聴結果

最初に通常どおり、埃取りブラシで清掃後、CD クリーナーの処理なしで聴いておき、盤の両面を処理後に聴き直します。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータでは、顕著な変化とは言えませんが、静寂感の中からミルシュテインのヴァイオリンがやさしく鮮明に浮かび上がってくる印象です。

ベートーヴェンの三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ) では、アンダのピアノは響きの美しさがあります。顕著な変化とは言えませんが、これに音の芯が通ってき

ます。

ワーグナーのワルキューレでは、顕著な変化とは言えませんが、弦のパートの分離が向上し、金管の音の切れがよくなり、ソプラノやメゾソプラノの位置関係が分かりやすくなります。

ヘンデルのメサイアでは、顕著な変化とは言えませんが、ハレルヤコーラスの分離がよくなり、迫力が増します。ソプラノの歌唱や弦楽のパートの細かいニュアンスが汲みとれ、バスの歌唱やトランペットのソロパートは迫力が増します。

LP-12にはターンテーブルシートとして [THE FUNK FIRM の Achromat](#) を、静電気除去には [EL-AEX-Vol.3 \(エレスタ・アナログディスク EX\)](#) を、スタビライザーには、[ターンテーブルアキュライザー](#) を使用しています。このため、アナログ盤は Achromat とターンテーブルアキュライザーに挟まれて、かなりの微振動抑制効果を受けていますので、こういったものがなければ、CD クリーナーの効果は顕著に現れていたかもしれません。

#### 4. まとめ

顕著とは言えませんが、すでに帯電防止や微振動対策を行ってきた上にアナログ盤の CD クリーナー処理の効果を認めました。

以上